手話通訳者のための障害者福祉論

講　座　概　要

現在、手話通訳者の多くは、障害者福祉の制度の一環である、自治体における地域生活支援事業の意思疎通支援者としての対人援助として、その業務を担っています。そのため、その業務にあたっては、異なる言語間の通訳作業だけではなく、社会的援助を必要とする聴覚障害者が抱える様々な困難さについての知識はもちろん、ソーシャルワーカーが身につけるべき対人援助の基礎知識や、関連機関との連携に関する知識も必要となります。
本講座は、手話通訳者をはじめ、聴覚障害児者の教育・支援に関わる方が、障害者福祉について基礎的な理解を深められるように３つの講義を厳選しています。本講義は、eラーニングの形態で実施します。受講期間は3ヶ月ありますので、ご自身のお仕事等の都合に合わせて学習に取り組んでいただけます。
※手話通訳者および聴覚障害児者の教育・支援に関わる方が対象となります。学生は無料です。
※講義動画は、音声に字幕がついています。
※本講座は昨年度のものと同じ内容です。

実施責任者：共同教育学部 特別支援教育講座 教授 金澤貴之

日程	講義内容	講師
3月3日(月)～11月28日(金) 随時受付 eラーニングシステム登録後 3ヶ月間受講可能	第１回：障害者福祉の基礎	東京福祉大学 保育児童学部 教授・上田征三
	第２回：障害者福祉論	東京福祉大学 保育児童学部 教授・上田征三
	第３回：聴覚障害者運動と聴覚障害者福祉制度	関西学院大学 人間福祉学部 教授・松岡克尚